

和歌山 人・もの・地域

和

n a g o m i

Vol.12
2010

特集

海の国から

知事対談
鳥越俊太郎×仁坂吉伸

プレミア和歌山
味ージュレ

トルコにおける日本年

パワースポットエッセイ
高野山[根本大塔]

田舎でみつけた (*boulangerie*)

特集

海の国から

太平洋に大きくせり出した紀伊半島。

その大部分を占める和歌山は海と山の国である。

緑と青が深く濃くもつれあい光が遊ぶ。

人々は、自然の神秘に触れ、神と崇め、親しみ、ともに暮らしてきた。

かつて、海上交通が盛んだった頃、

和歌山は交通の要衝として賑わい、

絶好の寄港地でもあった。

リアス式海岸で小さな屈曲に富み、良港に恵まれ、

別天地のように美しい紀伊水道沿岸は、

母なる海の多くの恩恵を受けるとともに、

時として厳しい表情も見せる。

太平洋へと開けたこの海には、

国内、国外を問わず数えきれないほどのドラマがあり、

今も各地で語り継がれている。

エルトゥールル号が座礁した舟甲羅と呼ばれる地点は、海岸から約200メートル。トルコ記念館から間近に見る事ができる。この辺は昔から海上交通の難所であった。



ボスボラス海峡に停泊中のエルトゥールル号。3本の大きなマストが特徴的。トルコ記念館展示。



梶野埼灯台は江戸条約により建てられた、日本最古の石造り灯台。1870年7月8日点灯。日本の灯台の父、英国技師ブランドン設計。



スレイマン・ヌトゥクが書いた「フリゲート艦・エルトゥールル号の悲劇」。1911年発行のエルトゥールル号事件について最初に発行された本。右ページの写真は、エルトゥールル号の司令官、オスマン・パシャの若い頃。



嵐の夜、島民たちの命がけの救出劇が始まる。

ストームブルー、まさしく嵐の夜だった。



海の国から

オスマン帝国は1299年に建国され、16世紀には黒海を含む、東はカスピ海、南は紅海全域からアラビア海、そしてアフリカ大陸の地中海沿岸部をその領土とした超巨大国家であった。



イスタンブールを出発し、故障や燃料切れなど様々な障害を経て11ヶ月。司令官オスマン・パシャはようやく明治天皇に拝謁し、その任務を終え帰国の途に着こうとするが、船内でコレラが発生し、出航できなくなる。検査が終了し、9月15日、エルトゥールル号は、故国イスタンブールへ向け錨を揚げる。本国から帰還をめぐって厳しい条件がつけられていたこともあり、台風接近のニュースを知りながらも船を進めたのである。

1890年9月16日の夜9時30分頃、死者587名を出したエルトゥールル号の事故はなぜ起きたのか。そもそもオスマン帝国が極東の日本に自国の使者を差し向けたのには二つの理由があった。ひとつは日本の皇室との外交的儀礼。もう一つは国威発揚としての演習航海。「すでに鋼鉄船が一般的な時代にあつて、老朽化した帆船のエルトゥールル号で無事往復できるかと誰もが疑っていた。」と、話すのはオスマン帝国の歴史に詳しい早稲田大学小松香織教授。弱体化しつつある海軍の強引な虚勢。燃料を購入する予算も充分ないオスマン帝国。エルトゥールル号の出航はまさしく前途多難であった。

本州最南端潮岬と向かい合う島、大島と呼ばれるこの島に住む高松友吉は、容赦なく叩きつける雨風のなか、大きな爆発音を聞き家を飛び出した。梶野埼の灯台守へ異変を知らせるため、暗闇の中を走っていると、大けがをし血だらけになった異国の男に出会う。島民たちの命がけの救出劇の始まりである。「友吉はエルトゥールル号の乗組員に出会ったはじめての島民。その後、半鐘を鳴らして灯台に人を集め、救出活動を始めたと聞いています。」と曾孫の堀口徳弘氏が沈没地点の舟甲羅を指差しながら語った。



トルコ記念館／エルトゥールル号殉難将士慰霊碑の近くに昭和49年に建設された記念館。引揚げられたエルトゥールル号の遺品や、沖村長の日記などが展示されている。
住所／東牟婁郡串本町樫野1025-26
電話／0735-65-0628
入場料／250円（小学生以下120円） 営業時間／9:00～17:00
定休日／なし



トルコ記念館に展示されている「大島村村長、沖周の日記」。当時の救助活動の様子が克明に描かれている貴重な資料。



沈没地点の舟甲羅周辺から、最近引揚げられた蛇口と剣の柄。エルトゥールル号に装備されていた大砲など大型の金物は、沈没直後、日本政府によって引揚げられ、本国オスマン帝国に送り返されている。トルコ記念館展示。



当時の日本は急ピッチで近代化が進み、1884年から発表されるようになった天気予報の精度は既に70～80％※という正確さであった。予報は的中、エルトゥールル号は嵐に遭遇、樫野埼灯台近くで座礁し、機関が爆発、沈没してしまう。

「翌朝、事故の連絡を受けた大島村の村長沖周は、郡役所と県庁に連絡、同時に村に住む3名の医師に治療を指示、島民を総動員し、救難活動の陣頭指揮を執ったなど、その当時の状況は沖村長の日記に克明に記録されています。」と語るのはエルトゥールル号を様々な面から研究する、東洋大学三沢伸生准教授。

堀口氏は「当時、樫野地区には60戸程度の民家があり、ほとんど全員が救難活動に携わったそうです。女性や子どもたちは炊き出しや看護を行い、男性は海岸に降り生存者を見つけては帯で背中に縛り付け、急な崖を担いで上ったそうです。そして食料として自分たちの貴重な米やサツマイモ、ニワトリを分け与え、ずぶぬれの生存者に浴衣を着せ、それでも寒さに震える異国の男たちを抱きしめ暖めたそうです。」と、母親から聞いた話を聞かせてくれた。

その後生存者69名は、神戸から送還され

るはずであったが、日本政府も財政難で簡単には艦を出せない。しかし、新聞各社の義援金募集活動により5千円（現在の価値で約2千万円）の義援金が集まり、その義援金を携えた民間人を乗せ、軍艦「金剛」と「比叡」がトルコを目指した。

その後、治療にあたった3人の医師に治療費などが支払われることとなるが、医師たちは「我々は当然の事をしたまじだ。そのお金は、遺族の方のためにお使いください。」と申し出たという。

慰霊碑周辺はいつも清々しい。「エルトゥールル号の悲劇」から120年経った今も、大島小学校の生徒やボランティアたちが清掃活動をしているという。トルコと日本の交友は、間違いなく今も続いている。

※資料＝1890年エルトゥールル号事件報告／中央防災会議発行



樫野埼灯台近くに建つ、エルトゥールル号殉難将士慰霊碑。エルトゥールル号の悲劇は、120年経った今も大島小学校の授業で語り継がれている。また生徒たちは定期的に慰霊碑周辺を清掃している。

水深15メートル程の発掘現場から浮上するトルコ海底考古学研究所元所長トゥファン・トゥランルさん。手に持っているのは経年変化により固まっているエルトゥールル号の真鍮製品や釘、銃弾などが組み合わさった遺物。

その後、120年に渡るトルコとの交友の証し。
島民たちの情愛が奏でる
紺碧の海の鎮魂歌。

きらめく海の彼方に観音浄土を求める。

補陀落の海は 再生への祈りの舟出。

本州最南端近く、和歌山県那智勝浦町に補陀洛山寺（ふだらくさんじ）という名刹がある。うつぼ舟と呼ばれる小さな舟にわずかばかりの食料と水を積み込み、南方海上にある観音浄土を目指す。そこは百花百村（びゃっかひゃくそん）、色鮮やかな花が咲き乱れる楽園だと言う。悩みや苦しみの多い此岸（現実世界）から、彼岸へと旅立つ補陀落渡海である。

補陀洛山寺に携わっている那智山青岸渡寺の高木亮英副住職に話を聞いた。「熊野の地は蘇りの聖地です。補陀落渡海も擬死再生なんだと思います。」しかし、補陀落渡海は命を懸けた修行である。「物理的に考えるとナンセンスですが、宗教というのは心の内面の世界。観世音菩薩様の前にいきたいと思うのは、極めて純粋な気持ちだったでしょう。」と語る。

しかし、中には黒潮の流れに逆らい、沖縄にまで辿り着いた渡海上人がいた。16世紀に補陀落渡海を試み、沖縄県金武村の海岸に漂着した日秀上人だ。那智の浜を旅立ち1100キロ彼方の沖縄に辿

り着いた時は、デイゴの花咲くこの地こそ「観音浄土」だと思った事だろう。その後、当地に補陀落院観音寺を建立し、那覇市にある琉球八社の一つ波上宮（なみのうえぐう）などを再興し、精力的に熊野信仰を広げたという。擬死再生。まさしく、海の彼方で擬死再生を得たのだ。琉球王朝と熊野を結ぶ物語は今も静かに続いている。



沖縄県の花「デイゴ」。インド原産のマメ科の落葉高木。日本では沖縄が北限とされている。インパクトがある真っ赤な花は、観音浄土を連想させたのだろうか。



「紀伊山地の霊場と参詣道」の一部として世界遺産に登録されている補陀洛山寺。開祖は那智山青岸渡寺と同じく、4世紀にインドから熊野に漂着した裸行上人。渡海が行われていた当時は、本寺近くまで海岸線が迫っていたと考えられる。



世界遺産である那智山青岸渡寺は西国三十三所観音巡礼の第一番札所である。奥にわずかに見える朱塗りの建物が熊野那智大社の本殿。

海の国から



海の国から



那智の浜にて上人を思い手を合わせる熊野修験の導師でもある高木副住職。渡海の初期は上人だけでなく多くの同行と連れ立って補陀落（ポータラカ）を目指した。



識名宮(しきなぐう)



普天満宮(ふてんまぐう)



末吉宮(すえよしぐう)



沖宮(おきのぐう)



金武宮(きんぐう)



天久宮(あめくぐう)



安里八幡宮(あさとちまんぐう)

「地域の住民が毎日使う醤油は、地産地消が当たり前だった。」と語る堀河屋野村17代目当主、野村太兵衛さん。元禄年間に廻船問屋として創業し、その後醤油造りが本業となる。「国産原料を使うのは当然。基

本的な作り方も変えていません。大豆を蒸すのも、小麦を煎るのも全て薪。木樽の中で熟成させる惜しみない手間は当たり前。」という本当の職人のこだわりがある。



江戸時代、オランダとの貿易の際使われていた陶器瓶を復元したコンブラ瓶。

堀河屋野村
住所／御坊市園743
電話／0738-22-0063
三ツ星醤油[コンブラ瓶入り]6300円(900ml)

醤油

徐福の木像。徐福は呪術・占星術などの方術を行う方士であった。

蓬莱山は神仙思想における三神山のひとつ。この向こう側に阿須賀神社があり、その境内には「徐福之宮」という徐福を祀った神社もある。



新宮駅近くにある極彩色の楼門が印象的な徐福公園。園内に徐福の像や墓がある。
住所／新宮市徐福1-4-24



文明の先進国が辿り着いた常世の国 海の向こう側から、 熊野に求めた不老不死。

今から2200年ほど前、熊野川の河口、蓬萊山と呼ばれる小島近くに、3千人の若い男女と技術者を従えた一人の男が上陸した。秦の始皇帝の命により、不老不死の薬を求めてやってきた徐福である。

「徐福の伝説は、道教の影響が深く、不老長生を求める神仙思想が民間信仰的に広がったのではないかと思います。それと、熊野の再生、蘇りという熊野信仰と結びついたのではないのでしょうか」と語るのは、国際熊野学会の山本殖生事務局長。



天台烏薬ゼリー／新宮市で見つけた天台烏薬のお茶で作ったゼリー。透き通った茶色で溶けるように柔らかく、アクセントに小豆が数粒。ロマンを感じる上品な甘さ。
きやろっと
住所／新宮市大橋通り2-4-2
電話／0735-23-1145

天台烏薬はクスノキ科の常緑低木で、原産地は中国。瑞々しい緑色は生命力を感じさせる。

Made in wakayama。そして海の向こうへ。

味噌と醤油。日本人の味のルーツは、和歌山にある。
13世紀の中頃、僧・覚心は、中国(当時は宋)に渡り、徑山寺(江蘇省鎮江市)での修行の傍ら味噌の製法を学んだ。当時の僧たちは大陸文化を学ぶ事に意欲的であり、それを日本に伝える知識人集団だった。その後帰国した覚心は、西方寺(現在の興国寺)和歌山県由良町)を開き、味噌の製法を伝えたといわれている。傷みやすい夏野菜を保存する為にその味噌に入れ、それが現在の金山寺味噌に発展した。醤油は味噌の上澄みからできたものであり、時を経て、その技術は銚子、野田へと海を渡るが、和歌山では今も手作りにこだわる小さな醤油蔵が伝統と知恵を受け継いでいる。



茄子や瓜など夏野菜がゴロゴロ。米や麦の形が見える。「先代からうるさくいわれたのは、この艶と形を残す事。」と愛想良く語るのは太田久助吟製の太田庄輔さん。この店の金山寺味噌は、食べやすいように甘めに作られている。昔ながらの室で夏なら1ヶ月、冬なら3ヶ月も寝かす。「今でも具材や麹をまぜるのは手作業。」そうつぶやく顔には職人の厳しさが見えた。

金山寺味噌

特集 海の国から

太田久助吟製
住所／有田郡湯浅町湯浅15
電話／0737-62-2623

知事対談

鳥越俊太郎×仁坂吉伸

フリージャーナリスト

和歌山県知事

思いやりの心がつむぐ 和歌山とトルコの絆

博愛の気持ちが人と人を結び 慈しみの気持ちが国と国を結んだ
2つの歴史的事件からひも解く文化交流
海洋国家 和歌山の風土と厚意を重んじるトルコが生んだ友情物語。

トルコが放つ救いの翼
テヘラン空港救出劇とは

仁坂知事(以下仁坂) ●今日は和歌山とトルコの友情の物語についてお聞きしたいと思います。鳥越さんは以前、トルコと串本の絆の物語を紹介するテレビ番組に出演されていましたよね。その物語の重要な一幕であるテヘラン空港救出劇※1の際、鳥越さんはまさ

に現地で取材しておられたとか。

鳥越俊太郎氏(以下鳥越) ●そうです。当時、私は新聞社の特派員としてテヘランにいました。そして緊迫感が高まる中、突然イラクが「イラン領空を飛ぶ航空機は全て撃ち落とす」という声明を出し、外国の飛行機がイラン領空を飛べなくなりました。身の危険を感じたテヘラン在住の外国人は、急ぎ海外へ脱出して行きました。数百人いた日

本人もチケットを購入し、搭乗手続きをしようとしていた矢先、日本人は搭乗を断られてしまったんです。チケットさえ購入すればこの国の飛行機にでも乗れると思っていたから、愕然としましたね。タイムリミットが迫る中、日本人だけが脱出できませんでした。残り残され、恐怖で右往左往していました。追いつめられて「危険を覚悟で陸路で脱出するしかない」という話にまでなっていた時、トル

コ航空の救援機がテヘランに到着したんです。その時は、なぜトルコの救援機が我々を救う為に危険を冒してまで来てくれたのかわかりませんでした。その後、エルトゥール号※2の話聞き、そうだったのかと感動しましたね。

仁坂 ●なるほど。鳥越さんたちもその時、一緒に脱出されたんですか？

鳥越 ●いいえ。ほとんどの日本人はテヘランから脱出しましたが、私たち報道陣は残りました。命がけで原稿を書いて送っていたんです。昼も夜も戦闘機のミグが飛んで来て爆弾を落としていく戦場にいる訳ですから、い

つ巻き込まれるかと恐ろしかったことを記憶しています。

仁坂 ●本当に危険な中で取材をなさっていたんですね。実はトルコでは、先ほど鳥越さんがおっしゃった明治時代に起きたエルトゥール号事件の事が今も教科書に記述されていて、多くのトルコ国民はこの話を知っていました。オスマン帝国はコンスタンティノープル(現イスタンブール)を征服した頃は無敵だったんですが、その後、国力が弱って行く中、西洋列強でない東洋の日本と親交を結ぼうとオスマン帝国の国民の期待を背負ってエルトゥール号は日本を目指した訳

です。しかしその帰途、和歌山の串本で沈没するという悲劇が起こってしまう。

鳥越 ●なるほど。その時、串本の人たちが懸命に救助活動をしたと聞きましたが。

仁坂 ●そうですね。島民たちは全力で救助に当たり、米や鶏などの食糧を提供し、寒さに震えるエルトゥール号の乗組員を自らの体温で温め、彼らの生命の回復に努めたそうです。後にオスマン帝国が当時治療に当たった医師に治療費を補償するという話になったのですが、医師たちは「自分達は、当然のことをしたまでだ。補償等の必要はない。そのようなお金があるならば、犠牲となつて

※1テヘラン空港救出劇／イラン・イラク戦争中、邦人脱出のため、日本の航空機が飛べなかったイラン領空を、トルコ航空が救援機を飛ばし、日本人を安全に海外へと脱出させた出来事。 ※2エルトゥール号遭難事件／1890年9月16日夜半、オスマン帝国アブデュル・ハミト2世の命を受けて来日した軍艦エルトゥール号が和歌山県大島の檜野埼にほど近い場所で遭難した事件。死者587人、生存者69人の大海難事故。現在、和歌山県串本町の檜野埼灯台のそばには「エルトゥール号殉難将士慰霊碑」およびトルコ記念館が立つ。また串本町と在日トルコ大使館の共催による慰霊祭も5年ごとに行われている。



トルコ国内で使われている教科書。エルトゥール号についての記述が見られる。

鳥越 俊太郎(とりごえ しゅんたろう)

福岡県出身。1940年3月13日生まれ
ジャーナリスト・ニュースキャスター

仁坂吉伸(にさかよしのぶ)

和歌山県知事

知事対談

鳥越俊太郎×仁坂吉伸
フリージャーナリスト 和歌山県知事



亡くなられたトルコ将兵の遺族にあげてほしい」と告げたそうです。私は感激屋なもので、この話をするとき自分でも感動して涙ぐんでしまうんです。トルコ国民は日本人でさえ忘れかけていたその歴史を、百年近くも覚えていてくれた。そして、今こそ「恩返し」の時だと考え、救援機を飛ばしてくれたのだと思います。今度は日本人がそのテヘランの恩を忘れず語り継いでいかなければいけないと思いますね。

鳥越●そうなんですか。素晴らしい話ですね。今の日本人に聞かせたい話です。和歌山県は海洋民族国家だったからそれができたのではないのでしょうか。昔から様々な価値観や文化に触れ、排他的になることなく、それを受け入れる。自国に向かつてではなく、世界に対して、目を向ける気質があった。まさしく海洋民族だからなんでしょうね。

誰をも受け入れる 和歌山気質

仁坂●和歌山には特徴的な二つの側面があるんです。一つは霊験あらたかな熊野三山という地域性です。昔から熊野三山は上皇や貴族、庶民などから篤い信仰を集めていました。生命力に満ちている神秘的な森があり、そこへ行くと蘇るんじゃないかと思うぐらいの神聖なパワースポットエリアなんです。そしてもう一つは住民気質。巡礼者をはじめ誰をも受け入れる住民気質です。この二つが絶妙に調和、融合してい



るんです。だからこそ「蟻の熊野詣」と呼ばれる程、熊野三山への巡礼は長く親しまれたんだと思うんです。もうひとつ面白いエピソードがあります。徐福伝説です。徐福は秦の始皇帝から「不老不死の薬を持ち帰れ」と命を受け新宮まで来たんですが、和歌山の誰でもウエルカムな気質が気に入って、帰国せずそのまま住み着いてしまったというものです。徐福も居心地がよかったんでしょうね(笑)。

鳥越●日本は単一民族国家という訳ではないですが、大多数は日本民族ですよ。同じような価値観や文化、風習を共有している。だからこそ異なる文化を受け入れにくいところがあります。日本は、もっと世界に目を向けて、異なった価値観、文化を持っている人と交流をして行かなければならない。そういった意味では和歌山は先進的な民族だったんでしょうね。

仁坂●ところが和歌山県民というのは意外と

名なお医者さんでしたね。

仁坂●良くご存知ですね。医聖と呼ばれる和歌山が誇る偉人の一人です。今年が青洲生誕250周年ということで、沢山の人が知ってもらいたいと思っています。

仁坂●偉人と言えば、6月3日トルコ建国の父、初代大統領ムスタファ・ケマル・アタテュルクの騎馬像が、新潟県から日・土友好のはじまりの地である串本町大島に移設され、記念式典が行われました。トルコ国内でその様子がテレビで放映され、トルコの人たちは大変感動されたそうです。これでまた良い関係が深まったのかなと喜んでいます。こうした二つの積み重ねが、時代を超えて固い友好の絆となっていくのだと思います。

鳥越●それが文化の交流なのでしょうね。そういう意味ではトルコと和歌山は本当に良い関係ですね。なんだからうらやましいな(笑)。実は大島には何度も行った事があるんです。檣野埼灯台にも上りました。素晴らしい所ですね。

仁坂●そうですね。私も和歌山の明るいリアス式海岸が好きなんです。串本の海にはラムサール条約登録湿地として認定された世界最北の珊瑚群集がありますし、他にも、様々な自然が残っているんですよ。

鳥越●私も以前は大阪の岸和田という所に住んでいたで、子供を連れて新宮とか熊野とかの観光地によく行きました。

仁坂●そうですね。ご近所だったんですね。

鳥越●和歌山といえば明るい南国というイ

シャイというか、奥手というか、自己アピールがあまり得意じゃないんです。何でも受け入れ、それを上手く自分のものとして取り入れ、更に創意工夫し新しいモノを創るのが得意な素晴らしい県民性なんですがね。

受け入れ、そして新たに 創造する和歌山の力

仁坂●和歌山は和食の原点である鰯節、醤油、味噌の発祥の地でもあります。鰯の一本釣りも高知が有名ですが実は和歌山から伝わったものなんです。

鳥越●みかんや梅も有名ですがそれは凄いですね。日本食と言うより、日本人の心の故郷というか、おふくろの味の原点じゃないですか。

仁坂●そうなんです。先進的な事を考える土壌はあるんですが、隠し事をしないと、大切な技術も独り占めしない県民性なんですよ。和歌山の人って大切な事でもすぐに教えちゃうんです。伝わった地域では初めの何十年間は和歌山のことを語り継いでくれますが、しばらくすると、なんとなく忘れられてしまいます。「はじめは和歌山」というものは、実は結構多いんですよ。私は和歌山をもっとアピールして「後々も和歌山」で行きたいと考えています。

鳥越●なるほど。和歌山の人って大らかな気質なんですよ(笑)。他にも世界で初めて全身麻酔手術を成功させた華岡青洲※3という有



華岡青洲

メージで、温泉もあり、料理も旨いし。豊かな自然を守っていて、海も山もある県。本当に風光明媚なところだ。

仁坂●昔は電車の旅が主流でしたから、他所と比べて不便でもなかったですし、さらにもっと昔は、和歌山沿岸部は海上輸送と言う面において、海的高速道路と呼べるものでした。大阪と江戸を結ぶ当時の最大の幹線交通路が和歌山の沖を通っていたのですからね。沿岸はその寄港地として相当繁栄していたんですよ。高速道路の時代になって、他所に比べてハンデを負うようになってしまいました。

鳥越●なるほど。まさしく目の前に広がる海を利用して発展した海洋国家だったんですね。

仁坂●今も和歌山には昔の様に発展する材料はたくさん揃っていますから、私は今こそ和歌山県人が元々持っている先取の気質をフル活用して積極的にチャレンジしていく時代だと考えています。

鳥越●がんばってください。期待しています。

仁坂●本日は貴重なお話をありがとうございました。

※3華岡青洲／(1760年～1835年)世界で初めての全身麻酔による乳ガン摘出手術に成功した医聖。紀州藩主の徳川治宝に侍医として招聘されるも、公職に就くと一般患者の治療が出来なくなると一旦は辞退した。その後、再度の要請により公職につき、城内には住まず一般患者の診療を続けたと言う。彼の偉業は青洲の里で知ることができる。
青洲の里 電話／0736-75-6008 住所／紀の川市西野山473 開館時間／10:00～17:00(入館は16:30まで) <http://seishu.sakura.ne.jp/>



「桜」から新たに始まる トルコとの友情物語。

エルトゥールル号遭難事故から120年、日本トルコ友好120周年の今年1月、アンカラ、イスタンブール、イズミットなどトルコ国内各地で「さくらプロジェクト」が行われ、日本から運ばれた3千本の桜が植樹された。

「これら桜のケアは今、始まったばかりです。これから成長し、花を咲かせて行く。日本とトルコが力を合わせ、友情の証として大切に育てていきたいです。」と外務省の担当者は語る。

「日本にもトルコとの友好を深めようとする団体が沢山あり、今までも熱心に活動されてきました。トルコとはエルトゥールル号の悲劇から120年間友好な関係を保ってきました。今後さらにこの友情の幹を太くしたいといけないと思っています。」この桜が友好の象徴として咲き誇るのを見てみたい。



日本トルコ友好120周年関連事業として今年6月3日に串本町大島で行われたエルトゥールル号殉難将士洋上追悼式典。



串本町大島の檜野埼灯台前に建つ、トルコ建国の父スタファ・ケマル・アタテュルクの像。彼が指差す方向には、エルトゥールル号が沈没した舟甲羅と呼ばれるポイントがある。



「トルコにおける日本年」とは、トルコ国内において日本の魅力を紹介する事業と共に、交流事業を通じて両国の友好関係をより一層深めようとするプロジェクト。また今年は「トルコ交友120周年」の大きな節目の年である。今後のイベントスケジュールなどは外務省HPで確認できる <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/turkey/2010/index.html>

REAL TURKEY トルコってどんなところ？



アキストラベルはトルコに本社がある旅行代理店。エロルさんは一年中、トルコと日本を行き来し、

エロル・シャファックさんは東京でアキストラベルという旅行会社を営む実業家。奥さんは作詞家の及川眠子さん。トルコは地理的にも文化的にもアジアとヨーロッパが混じり合ったエキゾチックな国で、様々な文化が融合し独自の文化が発展した。「トルコはイスラム教の国。でもイスタンブールではホットパンツ姿の女性とスカーフで顔を隠した女性が仲良く道を歩いています。串本は第二の故郷とも言える所。日本ともっと観光交流ができればいいね。そして今年は多くのトルコの人たちを串本を案内したいですね」とエロルさんは語る。

アキストラベル 日本支社 電話03-6427-4140

ぶるんとやわらかい味ージュレ。みかん本来のさわやかな風味は本物の味わい。冷凍庫で数時間凍らせてシャーベットにするのもおすすめ。他にも「てまりみかん」、「黄金ジャム」、「味ーしほり」など「プレミア和歌山」推奨品が多数ある。



味ージュレ

価 格／「味ージュレ」6個入2100円(1個350円)
生産者／「早和果樹園」有田市宮原町東349-2
電 話／0120-043-052 <http://sowakajuen.com/>
紹介した商品の購入は HP内のオンラインショップから。電話での注文も可能。



PREMIER WAKAYAMA

和歌山県優良県産品（プレミア和歌山）推奨制度
安心・安全を基本に幅広い分野で優れた県産品を“和歌山らしさ”、“和歌山ならではの”視点で推奨する。

紀州みかんとも呼ばれる温州（うんしゅう）みかん。中でも「有田みかん」はフルーツ王国和歌山を代表するブランドのひとつである。さらに光センサーにより選果した糖度12%以上のものを「味ーみかん」と名付けた。それはみかん農家が、土壌、水分、栽培方法にまでこだわった、有田みかんの中でもわずか数%しか収穫されない究極のみかんである。

昭和54年、「早和果樹園」は、味に妥協のない農家7戸により設立され、創業以来「美味しい有田みかん」といことんこだわってきた。ある時、社長の秋竹さんが「味ーの美味しさをいつでも気軽に味わえるようなスイーツを作りたい」と考えた。そしてみかん本来の甘みと瑞々しさを伝えるのに、一滴の水も加えない、というこだわり

「美味しいでしょう。甘いでしょう？」。まるで孫でも自慢するように、照れながらも愛情のこもった笑顔で苦勞話を語る目の奥には、みかんを知り尽くした生産者としての誇りと意地が輝いていた。

から商品作りが始まった。しかし、何も加えずにジュレを作るのは不可能。だが余分なものは加えない。頑固なまでの信念が商品開発を困難にする。何度となくスイーツの専門家にも相談するが、納得する商品ができない。そんな時、ある寒天メーカーが、社長の味ーに対する想いに魅せられ、協力を申し出てくれた。そして試行錯誤の後、天然素材の寒天とこんにゃく粉を使用した、みかん果汁91%の究極のスイーツ「味ージュレ」が完成する。



みかんの全てを知り尽くしている早和果樹園の秋竹新吾社長。



太陽の光をたくさん浴びた美味しい「味ーみかん」



みかん製品の数々は、ホテル「ザ・ペニンシユラ東京」や大手百貨店でも取り扱い。

「味ーみかん」がそのままジュレに水を一滴も加えない究極のレシピ

高野山・根本大塔 [高野町]

目が眩みそうな朱。高野山の壇上伽藍にある根本大塔内部は曼荼羅世界を具現化している。中央には胎蔵界大日如来、それを囲むように金剛界の四仏が配され、さらに十六の柱には十六大菩薩の仏画が描かれている。その存在感は圧倒的である。高野山全体が空海が思想する曼荼羅世界を表現した特別な聖域である。



根本大塔が建つ壇上伽藍は、空海がおられる奥之院と並んで、高野山の中で最も神聖な場所。空海が高野山を開創するにあたり、この塔を真言密教の根本道場とした。

根本大塔の朱



和歌山アラカルト **A la carte in wakayama**

しらすぱん

(涼しい時期のみ販売。)

中までぎゅーり入ったしらすはもちろん和歌山県産。ほんのり塩味が効いた新鮮なしらすの風味とパンの生地が相性抜群。

あるる21

住所／和歌山市和歌浦南2-1-25

電話／073-445-3553



モモのデニッシュ

フルーツ王国和歌山が誇るブランド「あら川の桃」をふんだんに使ったサクサクのデニッシュ。落けるような桃が贅沢な味わい。

ブーランジェリー フルリール

住所／紀の川市桃山町市場309-2

電話／0736-66-3233



イチジクのフリュイ

優しい甘さのイチジクにブルーベリーの酸味が効いたフリュイ。デニッシュと和歌山産の新鮮な果実の組み合わせが絶妙。

ブーランジェリー イノウエ

住所／和歌山市四番丁49

電話／073-424-8022



パンダホットケーキ

平成20年にアドベンチャーワールドで生まれた双子パンダをモチーフにしたホットケーキ。南紀白浜空港にお越しの際は是非!

スカイアドベンチャーレストラン

住所／西牟婁郡白浜町才野1622-125 (南紀白浜空港内)

電話／0739-43-1480

注目の技術で
人気も上昇



**ピノパン
みかん蜂蜜ツイスト**

国内特許取得の発酵済冷凍パン。開発まで10年。解凍不要で冷凍庫からそのままオープンに。いつでも焼きたてパンが食べられる。

ブーランジェリー ビノキオ

住所／和歌山市本町2-1

フォルテワジマ内

電話／073-432-8380



**古道王子
フランス**

熊野古道の酵母

世界遺産として有名な熊野古道で発見された天然酵母を採取・培養しパン酵母として使用。保存料や添加物を一切使っていない。

手づくりパン ビノキオ

住所／和歌山市狐島389MYビル1F

電話／073-452-7733



無垢の木と珪藻土の壁。天然素材にこだわった店内で、イートインができる。コーヒー豆もオーガニック。焼きたてピザがおすすめ。



フォカッチャ、クロワッサンなど数十種類のパンが焼き上がると、店内は小麦粉の香ばしい香に包まれる。

人気のクーロンヌ。フランスパン生地を王冠型にしたフランスの伝統的なパンで、薄皮・ふんわりが好まれている。奥に写っているのはnagiバゲット、クルミパン。



美しい大島の緑に囲まれたnagi。目の前には黒潮が輝く。爽やかな風を感じながらテラス席でリラックス。ゆっくり流れる時間が心地いい。



串本は奥さんの実家なのでよく訪れ、この空気に惚れたという。ぬけるような青い空と緑に包まれた贅沢なロケーションだ。



澄んだ空気の中、スタッフの笑顔もイキイキしている。このチームワークが美味しいパンをつくる原動力。



パンとカフェnagi(なぎ)

住所／東牟婁郡串本町大島 1158

電話／0735-65-0065

今号の「和」題

旬の和歌山情報をお届けします

Topics

宗教学者の山折哲雄氏 「第20回南方熊楠賞」を受賞



1990年に制定された同賞は、和歌山県が生んだ民俗学者・南方熊楠の功績をたなえ田辺市と南方熊楠顕彰会が熊楠没後50周年を記念して創設された。

5月8日、国際日本文化研究センター名誉教授の山折哲雄氏は民俗学、博物学的分野で功績のあった研究者に贈られる「南方熊楠賞」を受賞。古代インドやアジア、欧米にも及ぶ宗教思想の研究で知られており、ガンジーや仏陀、親鸞、蓮如などの思想に深く迫る一方、その幅広い考察で

日本文化の在り方などを問い続けた。手掛けた著作も多数にのぼる。「南方熊楠はカオスカ、コスモスカ」と題し講演した山折氏は受賞にあたり「南方熊楠という存在はいつも変わらぬ天空に輝く導きの星だった。これからは野性的な師匠の呼び声にこたえて、精進を重ねたい」とコメント。

南方熊楠顕彰会 住所／田辺市中屋敷町36
電話／0739-26-9909

Topics

NHK-BS放送「街道てくてく旅」 世界遺産 熊野古道を歩く



日本一の直瀑「那智の大滝」。その自然崇拜からおこった霊場が今回の「熊野古道をゆく(秋編)」で歩く、熊野那智大社である。

●放送時間(月～金・8:00～8:15)

コンセプトは「歩くことで見えてくるにっぽん」。2006年4月から放送され親しまれている「街道てくてく旅」。新シリーズ「熊野古道をゆく」の旅人は元プロテニスプレイヤーの森上宮大社へ。本宮からは熊野川を舟で下り、熊野速玉大社を参拝。いこいへの熊野詣ルートをたどる。

踏破した。そして9月13日からは秋編がスタート。まずは田辺市から串本を経て、那智の滝を祀る熊野那智大社を目指す。そして背後にそびえる那智山を越え熊野本宮大社へ。本宮からは熊野川を舟で下り、熊野速玉大社を参拝。いこいへの熊野詣ルートをたどる。

Topics

世界遺産の地を都心で体感 「高野山カフェin丸の内ハウス」



アクセス／JR東京駅(丸の内北口より徒歩1分)、東京外丸の内線東京駅(地下道直結) 高野山カフェ事務局 電話／03-3595-3392

南海電鉄と高野山金剛峯寺が毎年協力し本格的な写経・瞑想体験などもできる高野山カフェを開催。また施設内の各飲食店では精進料理の要素を取り入れた創作料理やスイーツが味わえる。東京「新丸の内ビル7F・丸の内ハウス」にて9月1日から12日間の限定イベント。

Topics

和歌山観光に便利な アクセスガイドがリニューアル



オリジナルな旅を応援する「東京から行く わかやまアクセスガイド&時刻表」。より見やすくなった2010年春夏号が発行された。新幹線や電車、航空機はもちろん、高速バスなど様々な交通手段の時刻を掲載。高野山、熊野三山、南紀白浜エリアの路線バス情報や、各エリアのおすすめ情報も紹介している。わかやま喜集館、和歌山県東京事務所配布のほか、HPにて閲覧できる。

<http://www.kishukan.com/10guide/>

Column01・東京で愉しむ和歌山の食



熊野路 築地店

温かいご飯の上に、和歌山産のシラスが惜しげもなく乗せられた、熊野路おすすめのシラスめし。まずはそのままの味を楽しみたい。自家製タレももちろん伝統ある湯浅醤油。他にも鯨の刺身やクエも大人気。日本酒もやはり和歌山の地酒。丸ごと和歌山を感じられる。

■Data▶
問い合わせ／JA紀の里富農生活部(JA紀の里富農センター)
電話／0736-77-0810 <http://www.ja-kinosato.or.jp/> (JA紀の里HP)

Topics

和歌山の“お母ちゃん”珍道中 母と娘の東京ふたり暮らし



「お母ちゃんと おもしろい東京暮らし」

4月20日、和歌山県出身の少女漫画家「さちみりほ」が描くおもしろコミックエッセイ「お母ちゃんとおもしろい東京暮らし」が宙(おおぞら)出版から発行された。65歳にして和歌山から上京してきた人懐っこくてパワフルな、著者の「お母ちゃん」を描いた、クスリと笑え、ほのぼのと心温まる話の数々。「まっとかえ」「あかなして」などの和歌山弁に注目。

宙出版 電話／03-5228-4060

Topics

熊野古道もちらりと登場 映画「恋するナポリタン」



この秋一番のラブストーリー「恋するナポリタン」世界で一番おいしい愛され方〜。ヘルシーなマクロビオティック料理がスクリーンを飾る本作に熊野古道や熊野川などの映像も登場。観る人の五感を癒す“私へのごほうび”として仕上がる。心をキュンとくすぐる切ない恋と癒しの料理をさあ召し上げ。9月11日全国公開。
主演相武紗季・真木大輔・塚本高史他。
<http://www.koinapo.jp/>

Column02・この時期気になる~和歌山の食材~

栄養豊富! 美容と健康に 紀の川市特産「いちじく」

“フルーツ王国”和歌山県では、みかんや柿、桃などが有名だが、いちじくも愛知県に次いで、全国2位の収穫量を誇っている。産地は、紀の川市を中心とした紀北地域。中でもおよそ90%は紀の川市産だ。

おすすめの食べ方は「いちじくのヨーグルトがナ」。どちらもカルシウムが豊富なので健康に最適。7~10月が旬の甘くてフレッシュなイチジクをぜひ味わってみては。



■Data▶
問い合わせ／JA紀の里富農生活部(JA紀の里富農センター)
電話／0736-77-0810 <http://www.ja-kinosato.or.jp/> (JA紀の里HP)



交通アクセス

●羽田空港から南紀白浜空港まで約1時間10分
●和歌山市まで
関西国際空港からバスで 約40分
大阪市内中心部から車で 約1時間

メディア関係の皆さまへ

和歌山県では、取材への積極的な協力・現地情報の提供等を行っています。

お問い合わせ

■和歌山県広報課
TEL. 073-441-2032 FAX. 073-423-9500
e-mail / nagomi-waka@pref.wakayama.lg.jp
■和歌山県広報課東京branch (和歌山県東京事務所内)
千代田区平河町2-6-3都道府県会館12階(東京メトロ 永田町駅直結)
TEL. 03-5212-9057 FAX. 03-5212-9059
広報専任スタッフがおりますので、お気軽にお問い合わせください。

観光物産

東京 ■わかやま喜集館
千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館地下1階
TEL. 03-3216-8000 FAX. 03-3216-8002
e-mail / wtkankou@sepia.ocn.ne.jp
名古屋 ■和歌山県名古屋観光センター
名古屋市中区栄4丁目1-1 中ビル4階
TEL. 052-263-7273 FAX. 052-265-0327
e-mail / wakayama758@crocus.ocn.ne.jp

和歌山県フォトライブラリー(写真貸出)
<http://www.pref.wakayama.lg.jp/photo/>

和歌山 応援団 求む!

「ふるさと和歌山応援寄附」を通じてサポートしてください

和歌山県では、世界遺産や文化財の保全、2015国体開催、美しい海づくりなどに活用させていただきます。選択肢の中から活用方法の指定もできます。どうぞよろしくお願いいたします。

ふるさと和歌山応援サイト

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>
※クレジットカードもご利用可能です。

和歌山 人・もの・地域

和
nagomi

2010 vol.12

企画・発行／和歌山県
発行 日／平成22年7月23日
企画編集／サンケイ広告(株)
制作／(有)YSpros
印刷／中和印刷紙器(株)

「和-nagomi」は古紙配合率70%以上の再生紙、大豆油インキを用いて制作しています。



たま駅長のネコスピ

たま電車

和歌山電鉄の中でも一番人気のたま電車。通称たまでん。貴志駅に勤務する、「たま駅長」をモチーフにしたかわいい電車。木をふんだんに使った車内は、人に優しくそして楽しいネコロジー。

遊んでるんじゃないこや



たまシルエットの背もたれシートが可愛いよ



こんなところにもいるにや。



SUPER STATION MASTER
TAMA

車両間にはスーパー駅長たまの「のれん」よ



数えてみるにや。



たまちゃんキャラクターは101匹の



次回は駅舎を
紹介するにや



たま駅舎は8月4日だよあ！

「たま駅長」の勤務先、貴志駅が全面リニューアル。「たま駅長」がモデル。檜皮葺の屋根はもちろん駅舎内は木、石、土、レンガなどの天然素材を使用した、懐かしさを感じさせる優しい空間に仕上がる予定。

たま駅長は、新駅舎完成まで非常勤の勤務となります。問い合わせは、和歌山電鉄(TEL.073-478-0110)へ。駅長たまのツイッターやっています <http://twitter.com/ekichoTAMA>

フォローしてにやんご。



和歌山県ホームページ
(携帯サイト)

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/mobile/index.php>



「エコスピ」ーそれは、スピリチュアルな視点から考えるエコロジー。

「和-nagomi」は、和歌山県に息づくエコスピ・マインドにスポットをあてながら、旬の話題をお届けします。